

科目名	発達障害心理学	
担当者	山喜 高秀 / YAMAKI, Takahide	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	教育現場において、近年大きな問題であり課題となっている“発達に偏りや遅れを持つ子どもたち（発達障害児）”をどう理解し援助していくかということについて、「特殊教育」から「特別支援教育」への転換に至った経緯とその現状を概観しながら考えていく。あわせて、具体的に（1）知的障害（2）広汎性発達障害（3）学習障害など主な発達障害について学習していく。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「特殊教育」から「特別支援教育」への転換について学ぶ。</li> <li>・ 発達障害の概論について学ぶ。</li> <li>・ 主な発達障害（1）知的障害（2）広汎性発達障害（3）学習障害（4）AD/HD（5）情緒障害などについて学ぶ。</li> </ul> 発達障害児、者への支援について学ぶ。
授業計画	(1) 「発達障害者支援法」、「特殊から特別支援への変遷」について学ぶ。 (2) 発達障害についての概論の学習。 (3) 知的障害（MR） (4) 広汎性発達障害（PDD）① (5) 広汎性発達障害（PDD）② (6) 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）① (7) 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）② (8) 学習障害① (9) 学習障害② (10) 情緒発達障害①不登校 (11) 情緒発達障害②行為障害 (12) 児童虐待① (13) 児童虐待② (14) 治療と援助について (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	・学習した内容を他の関連科目の授業に役立てること。
使用教材 参考文献	<b>【教】</b> 田中千穂子ら『発達障害の心理臨床』有斐閣アルマ 2005 <b>【参】</b> 山喜高秀『社会福祉援助技術』創元社 2004 文部科学省 : 学習指導要領	
成績評価方法 と基準	<基準>「発達障害心理学」に関して、講義の到達目標の4項目の理解修得が達成されたものを合格とする。 <方法>受講態度（40%）総括レポート（60%）	
備考		